

報道各位

アセット・バリュー・インベスターズ・リミテッド

ロート製薬株式会社への公開キャンペーンを公表

アセット・バリュー・インベスターズ・リミテッド（以下「AVI」）は本日、ロート製薬株式会社（以下「ロート製薬」）の企業価値向上に向けた公開キャンペーン「ロート製薬の目を覚ます」を公表致しました。公開キャンペーンの内容は、以下の特設ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.assetvalueinvestors.com/campaign/awakening-rohto/>

AVIは、2024年6月にロート製薬への投資を開始して以来、約2年間にわたり、持続的な企業価値の向上にむけて様々な対話を模索してまいりました。2025年4月には公開キャンペーンを公表し、企業価値向上に向けた様々な推奨事項をご提案しております。しかしながら、未だ収益化の道筋の見えない再生医療への継続投資、高額な買収価額で取得したEYS社の業績下方修正などを受け、株価は低迷している状況です。さらに、創業家4代目である山田邦雄会長は、分散型の経営哲学のもと、東証の指摘する資本コストを意識した経営を十分踏まえない形でメディカル事業の経営を継続するなど、コーポレートガバナンスの観点でも課題を認めます。

こうした状況に鑑み、AVIは当社の株主として持続的な企業価値向上を支援する趣旨から、昨年に引き続き、公開キャンペーンを公表することと致しました。さらに、AVIが運用業務を受託するファンドであるAVI JAPAN OPPORTUNITY TRUST PLCは、2026年6月開催予定の定時株主総会に向けて、山田邦雄会長の解任議案を提出いたしました。

AVIの日本調査責任者 坂井 一成は、以下のとおり述べています。

「ロート製薬は化粧品事業やOTCアイケア事業などコア事業の潜在価値は非常に高い一方、昨年に引き続いた、創業家の経営方針に由来する、再生医療事業への盲目的な投資の継続が、企業価値を低廉な水準へと押し下げています。焦点の明確な経営の実現に向け、事業ポートフォリオ戦略の早急な見直しを行い、東証の要請の通り、資本コストを意識した経営とコミュニケーションが実現されることで、ロート製薬の本源的価値が顕在化するものと確信しています」

以上

#

AVIの概要

AVIは、1985年に英国ロンドン市にて設立された投資運用会社であり、40年以上にわたって日本を含むグローバル株式市場にて投資活動を行っております。AVIは、AVI グローバル・トラスト及びAVI ジャパン・オポチュニティ・トラストを含む投資ファンドの資産を運用しており、運用資産合計約3,400億円のうち1,900億円を日本株式市場に投資しております。これらのファンドは、いずれもロンドン証券取引所のメイン市場に株式を上場する公開会社です。

AVIは、日本版スチュワードシップ・コードの受入れ表明を行っており、投資先企業の企業価値の向上及び持続的成長に寄与するべく、経営陣や取締役の皆様との建設的な対話に取り組んでおります。